



発行：日本建築構造技術者協会九州支部
TEL 092-406-7204 / FAX 092-406-7214
Web Site : <https://jscakyushu.jp/>
E-mail : info@jscakyushu.jp

令和4年度 第3回役員会議 報告

JSCA九州支部「令和4年度 第3回役員会」が3月17日、福岡市のガーデンシティ天神において開催されました。

今林 支部長の挨拶

- ・九州支部役員の皆様、日頃より JSCA 九州支部の活動にご尽力いただき誠にありがとうございます。令和4年度もコロナ禍にありながらも皆様のお力で様々な活動を行えたことに感謝申し上げます。沖縄での JSCA 構造デザイン発表会の成功は今年度の大きな成果の一つとなりました。さらに、各委員会・部会および各地区会でも講演会や勉強会そして見学会などが積極的に行われ、実りある1年間だったと思います。
- ・本日は令和4年度第3回役員会です。前回の第2回に続いて対面+WEBによる開催とされています。本日の主な議題は、来年度の新しい支部役員の体制について、本年度決算・来年度予算について、5月支部総会の準備についてなどとなります。また、地区会の方々への交通費負担額見直し案についてもお示しします。さらに、各委員会・部会そして各地区会の報告においては、今年度の総括と来年度への抱負および体制の変更などもありましたらお話し頂けると幸いです。そして、役員会の後には懇親会も予定しています。皆さんと今年度の感謝の会として楽しく過ごしましょう。
- ・それでは、皆様からの自由な忌憚ない意見や活動の報告など有意義な意見交換の場としたいと思います。活発な議論をよろしく願いいたします。

議題

1. 支部長挨拶（支部長）
2. 第2回役員会議事録の確認(事務局)
3. 前回役員会以降の事業報告
4. 事務局・委員会報告
5. 地区会報告と事業計画
6. その他
JSCA九州支部日程表・来年度の役員会人事
本年度決算（案）、来年度予算（案）ほか

役員会の詳細は JSCA 九州 HP 上の議事録をご覧ください。

<https://jscakyushu.jp/>

活発な議論が行われた役員会は勿論のこと、懇親会や二次会でも、とても有意義な交流が出来ました。支部長・副支部長、事務局をはじめ役員の皆様、各地区会の皆様、誠にありがとうございました。

『E-Isolation 見学会レポート』

応答制御部会副会長 高山一斗さんより E-Isolation 見学会のレポートです。

E-Isolation 見学会

現場見学会概要

- ・主催：一般財団法人 免震研究推進機構
- ・日時：2023年2月18日(土) 12:00~14:00
- ・場所：防災科学技術研究所 E-Defense (兵庫県三木市)

見学会レポート

見学会では、まず会議室にて和田章先生、竹内徹先生、高橋良和先生に本施設の概要・実現に至るまでの経緯・導入した計測システムの内容を説明頂いたのちに、現地に向かい試験機を見学させて頂いた。

今回見学した実大免震試験機の最大の特徴は、
 “大荷重・大速度の載荷が可能”
 “水平方向の小～大振幅時の計測精度が極めて高い”

という点にある。この試験機の実現に向けたプロジェクトは、阪神淡路大震災から約30年、海外ではカリフォルニア大サンディエゴ校等で大規模実験施設が建設されている中、「地震大国日本において大荷重・大速度での免震装置の実験ができないのはあるまじき状態である」という強い問題意識から開始されたものであった。

また、単に他施設に追いつく事だけを目的としたものではなく、全く新しい荷重計測機構を導入している。

既に稼働している海外の試験機では水平ジャッキ側の荷重検出器の値を測定するが、この測定値にはベアリング部の摩擦力と加振台の慣性力が含まれ、これらを除去する事は容易ではなく、予てからの課題とされていた。

今回の試験機では、試験体上部の反力梁側に水平方向に剛な鋼管を設置し、この鋼管に生じる力を計測することで摩擦力と慣性力を含まない試験体に作用する力を瞬時に精度よく測定することが可能となっている。

この計測システムの採用により、大軸力下における実験においても極めて高い荷重測定精度をもつ試験機を実現することができ、これまで縮小実験と静的実験の結果の外挿による実性能評価に頼らざるを得なかった状況が一変することとなる。

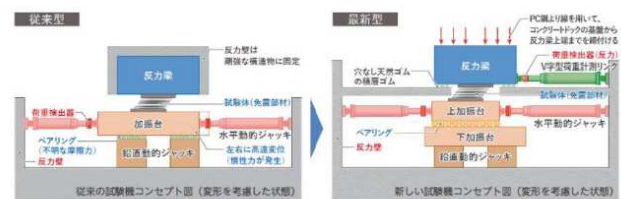
見学会を通して、本件に携わる中での先生方の苦悩や情熱を感じる事ができたが、中でも印象に残ったのは和田先生が何度か発言されていた『免震構造の聖地(メッカ)をサンディエゴから E-Defense へ』という言葉であり、何よりも強い意志と実行力を持つことが技術革新につながるということを痛感した。

先生方の熱い想いに刺激を受け、今後の免震建物の設計に向き合っていきたい。

(応答制御部会副会長 高山一斗 所属:竹中工務店九州支店)



実大免震試験機の概要 (E-Isolation パンフレットより)



計測システムの比較 (E-Isolation パンフレットより)



見学の様子 (外観)



見学の様子 (内部)



試験機



反力梁



回転拘束荷重計測リンク



V型荷重計測リンク

高山様、貴重なレポートありがとうございました。

『総会準備チーム キックオフミーティング』

日時 2023年4月4日(火): 18:00~20:00
 場所 SPACE on the Station (ソラリアステージ 6F)
 議題 各担当の割り当て確認
 各担当の主な役割
 その他検討事項

総会準備チームのキックオフミーティングが行われました。はじめに重松副支部からキックオフミーティング開催のご挨拶があり、その後、「資料担当(安達リーダー)」「運営担当(松田リーダー)」「会場担当(恵藤リーダー)」の3つのセクションへの割り当てや役割についてご説明がなされました。また、構造デザイン部会、青年部会等の有志が組する形で総会の準備が進められていくことが確認されました。



キックオフミーティング

これまでの総会は、事務局長がほぼ1人で資料作成から会場運営までを執り行っていました。今後の総会準備は、業務の効率化や担い手の負担軽減を目指してマニュアル化を行い、皆で協力して準備していきます。またミーティングでの意見交換では、共有データをCloud上から更新していく事、各項目ごとに時期や内容を記されたマニュアルをバージョンアップしていく事等の意見が出され、それらを実行していく事が確認されました。来年以降、担当者が変わっても総会準備がスムーズに受け継がれる事になるかと思われまます。

2023年5月19日に行われる総会を成功させるべく準備を進めてまいりますので、JSCA九州支部会員の皆様のご指導、ご鞭撻、ご協力のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

掲載記事大募集!!

正会員・賛助会員の皆様、この機関誌「JSCA九州メール版」へ何か掲載されませんか?
 レポートや広告など掲載されたいかたは事務局までご一報をください。

編集後記

コロナ禍が落ち着きを見せる中、対面での委員会や講習会も再開されてきました。今年の支部総会も会場での開催となり、記念講演会も行われる予定です。JSCA九州支部を盛り上げるべく、広報委員会も微力ながら貢献してまいります。今後ともご協力のほどよろしくお願い致します。

(福田・中島・増田)